

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名 鶴見区

学 校 名 茨田南小学校

学校長名 井上 昌子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・茨田南小学校では、第6学年 64名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は、66%で全国平均正答率と比べて0.8%下回り、大阪市の平均正答率より1%上回る結果となった。算数科の平均正答率が56%で全国、大阪市の平均正答率と比べて2%下回る結果となった。理科の平均正答率は、53%で全国平均正答率と比べて4.1%下回り、大阪市の平均正答率より2%下回る結果となった。国語科については改善傾向にあり、全国との差は縮まりつつある。

また平均無回答率については、国語科は、3.4%で、全国の平均無回答率より0.1%高く、算数科では、4.3%で0.7%全国平均無回答率より高く、理科は、2.8%で、全国の平均無回答率と同じ結果となり、こちらについても、前年度よりさらに改善されつつある結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「書くこと」の平均正答率が71.4%で全国平均より1.9%上回り、「読むこと」の平均正答率が58.3%で全国平均より0.8%上回っているが、昨年度までは差が大きくあったため、改善されてきている。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」について下回っており、課題がみられる。話し手と聞き手の間に好ましい関係を築き、継続させる言葉の働きに気付くことができるように、振り返りの場面などで自分たちの話し合いの様子を確かめる活動を設定することが必要である。

〔算数〕

「変化と関係」の平均正答率は、60.9%で全国平均より3.4%上回っているが、他の領域の平均正答率は、いずれも全国平均より下回っているが、前年度までより差が縮まり改善されている。日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにしていく必要がある。

〔理科〕

いずれの領域も全国平均より下回っている。特に「地球」を柱とする領域の平均正答率が54.9%で全国平均より11.8%下回っている。観察、実験の結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定していく必要がある。

質問調査より

- ・「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童の割合は、93.3%で全国平均より0.4%低い結果となっている。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童の割合は、93.3%で前年度よりも増加し、児童の意識が改善されつつある。全国と比較すると6.4%上回る結果となった。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童の割合は、91.7%と前年度よりも増加し、全国と比較するともっとも肯定的な回答については、11.4%上回る結果となった。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して「当てはまる」と回答をした児童の割合は、昨年度と比較すると、増加しており、全国と比較すると12.4%上回っている。
- ・学校生活の中でさまざまなことに挑戦をする場面を増やし、児童が夢や目標に向かい、自信をもって学習に取り組むことができるように、子どもたち一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を引き続き進めていく必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

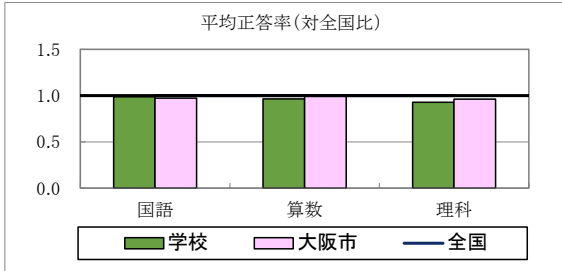
本校では、昨年度に引き続き算数科を研究教科として、スクールアドバイザーの先生、大阪市総合教育センターの指導主事に来ていただいて、授業改善に向けた指導助言や校内研修等の支援などを行っている。個に応じた支援や授業改善について教員に指導をもらい、授業を進めている。授業を中心とし、様々な教育活動の中で児童一人一人が自分の考えをもち、互いに交流する場を多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びを進めている。また、課題となっている「数と計算」の力を付けられるよう、話し合いやICT機器を活用して数学的な思考へと繋がるような指導を学校全体で取り組んでいる。昨年度に比べて、少しではあるが、「変化と関係」の領域について成果が表れてきている。学力向上に向けた研修を重ねることで、さらに教員の指導力を磨き、根拠や理由を表現できる児童の育成を図り、学力向上に努めていく。

今後も、15分間のモジュール学習を行い、漢字や計算等の基礎・基本の内容の定着や既習内容の復習等に取り組んだり、校内の掲示物により、社会情勢について知見を増やしたり、考えられる機会を増やすなど工夫し、学力の向上に努めていく。家庭には、今回の児童質問紙からうかがえる実態を機会あるごとに伝え、その課題解決のための協力を得ていくようにする。

【 全体の概要 】

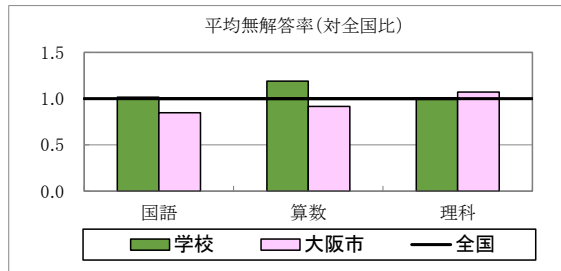
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	66	56	53
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.4	4.3	2.8
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



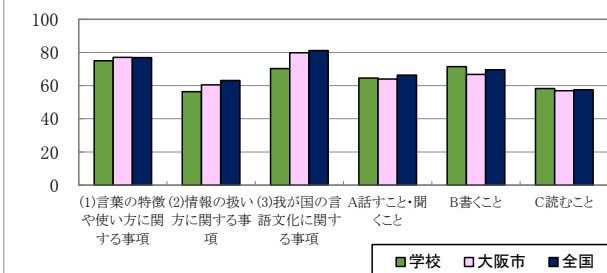
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	75.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	56.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	70.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	64.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	71.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	58.3	56.9	57.5

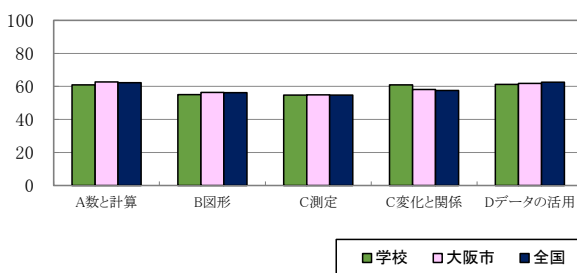
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.9	62.7	62.3
B 図形	4	55.1	56.4	56.2
C 測定	2	54.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	60.9	58.2	57.5
D データの活用	5	61.3	61.9	62.6

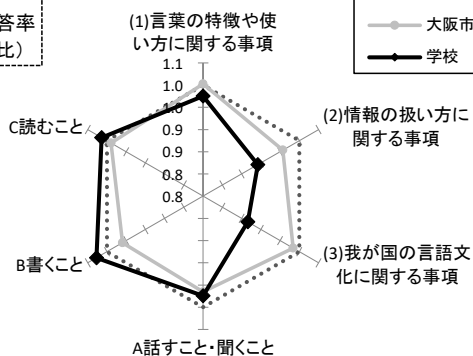
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



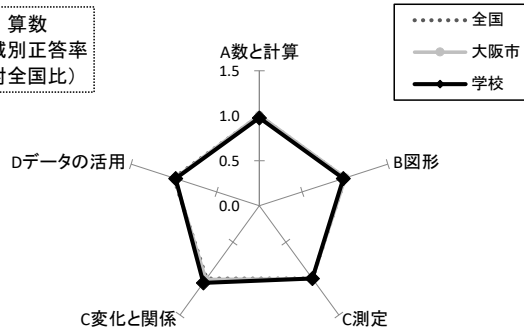
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

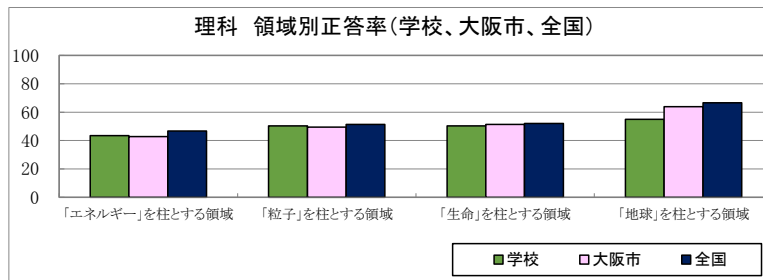


算数
領域別正答率
(対全国比)

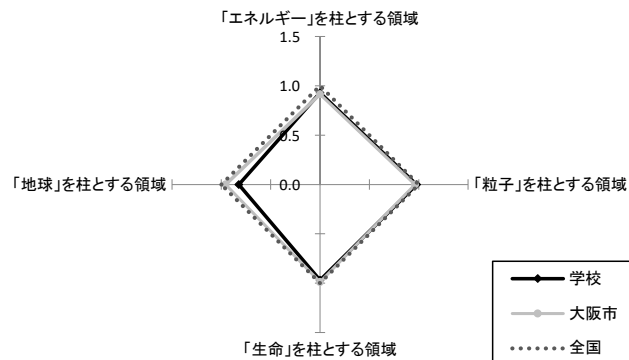


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	43.4	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	50.3	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	50.4	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	54.9	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

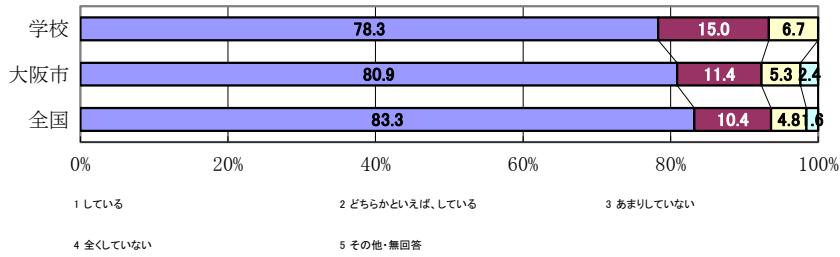
4

5

6

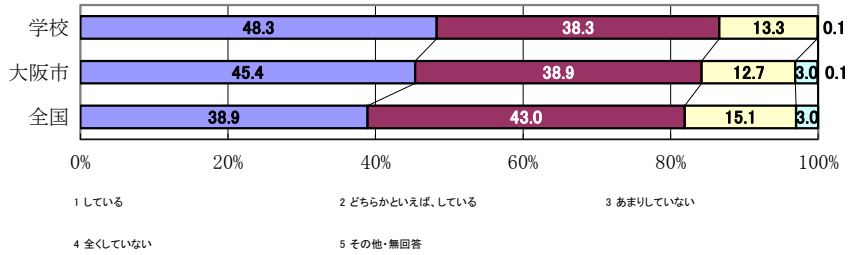
7

8



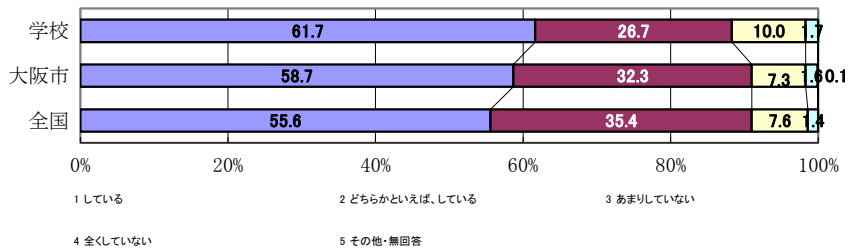
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



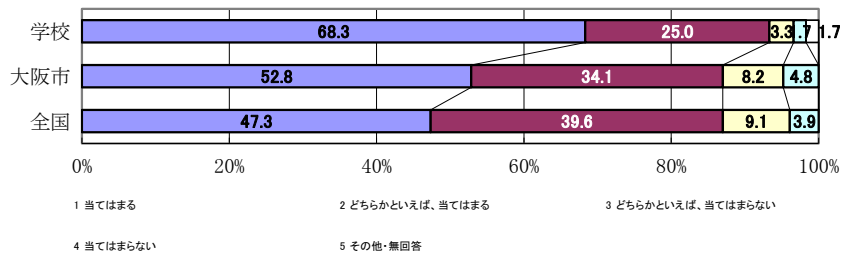
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



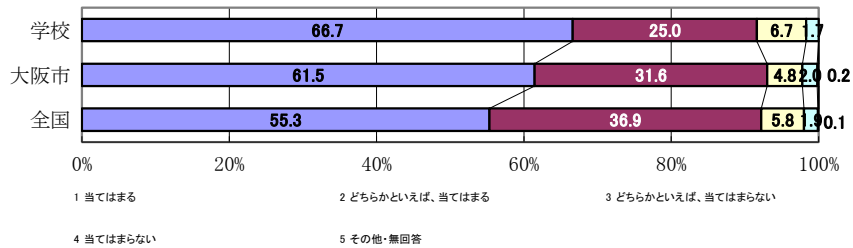
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



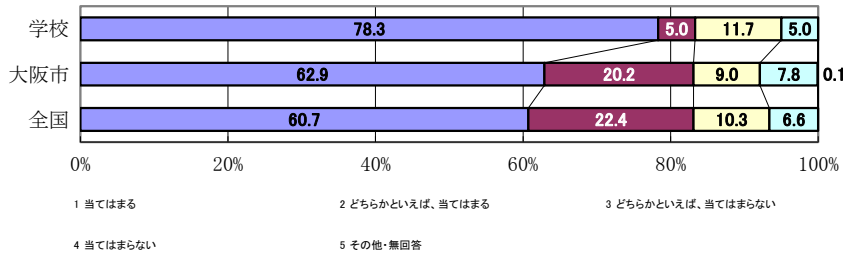
児童質問より

質問番号

質問事項

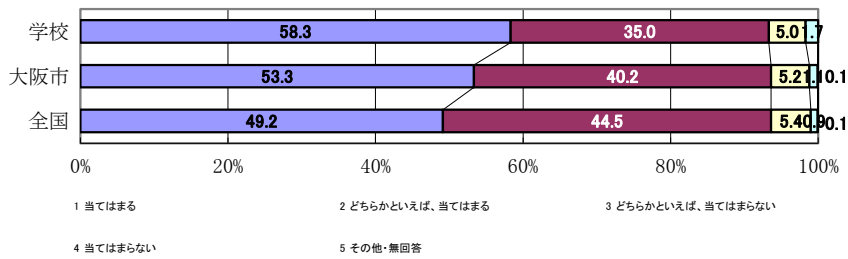
7

将来の夢や目標を持っていますか



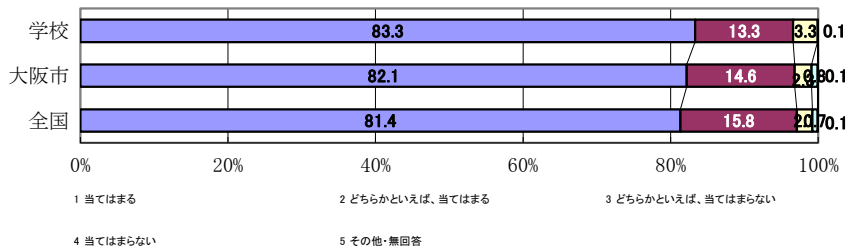
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



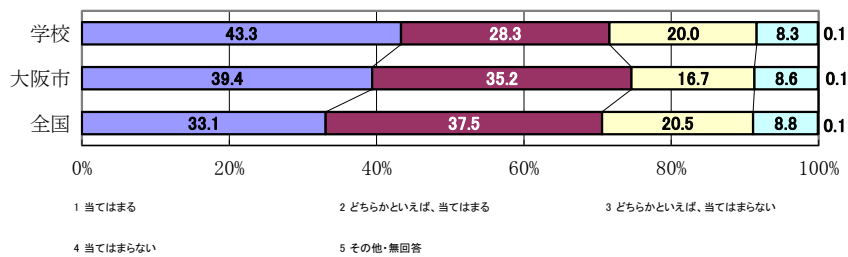
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



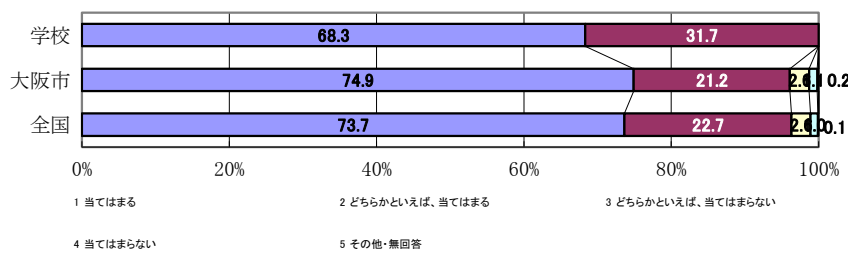
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



児童質問より

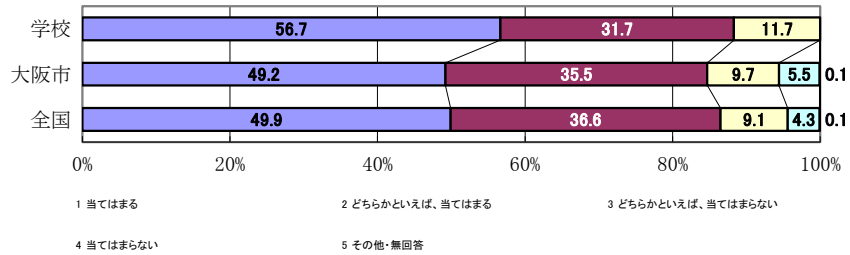
質問番号

質問事項

12

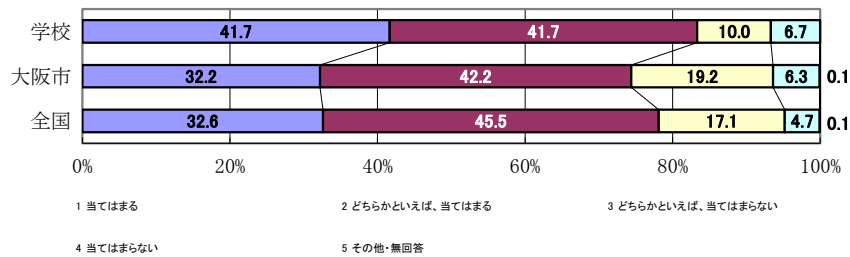
学校に行くのは楽しいと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



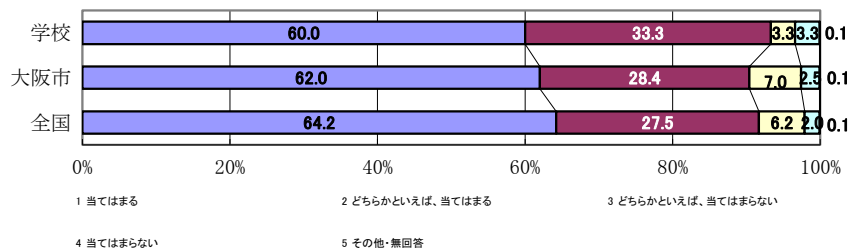
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



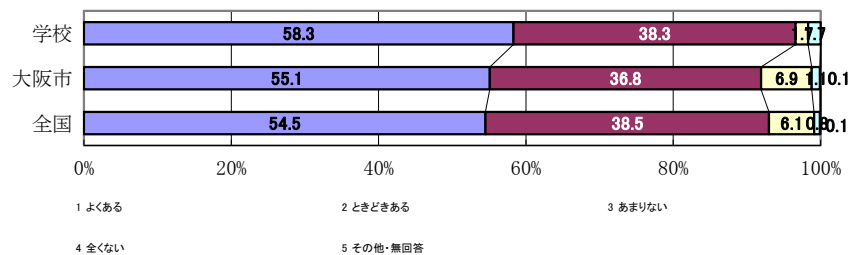
14

友達関係に満足していますか



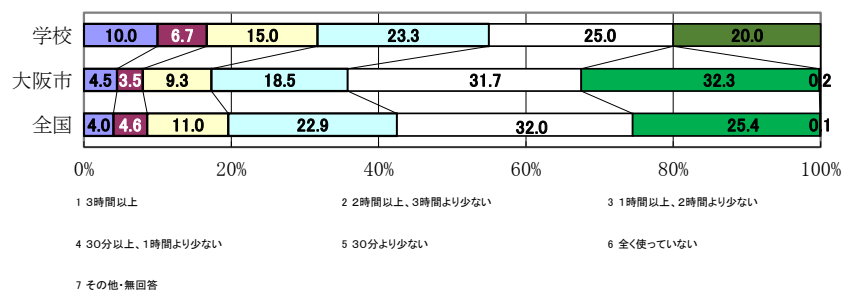
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



18

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



児童質問より

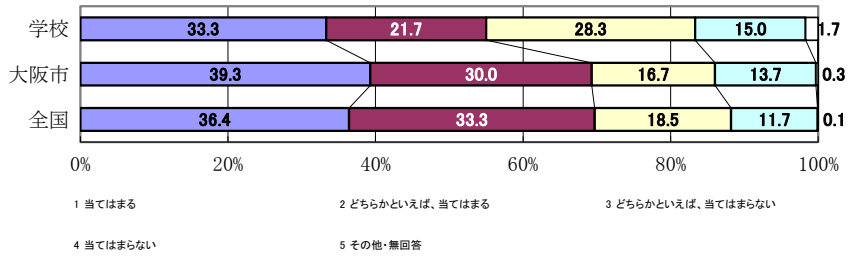
質問番号

質問事項

24

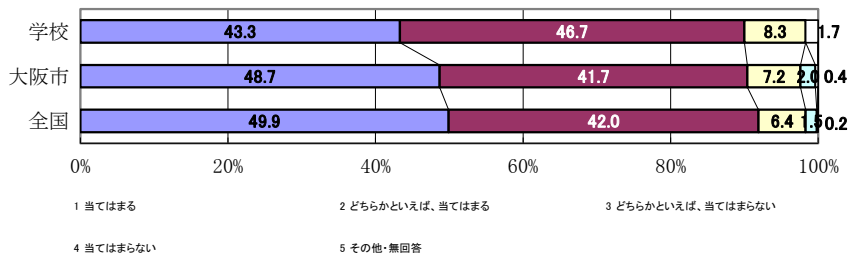
読書は好きですか

1 2 3 4 5 6 7 8



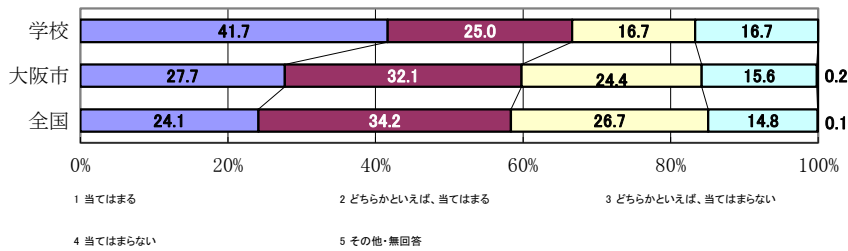
39

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



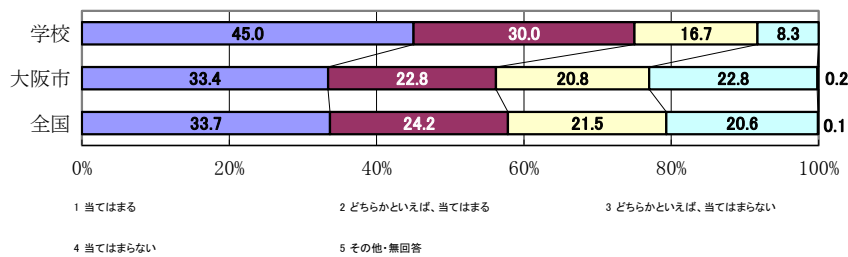
45

国語の勉強は好きですか



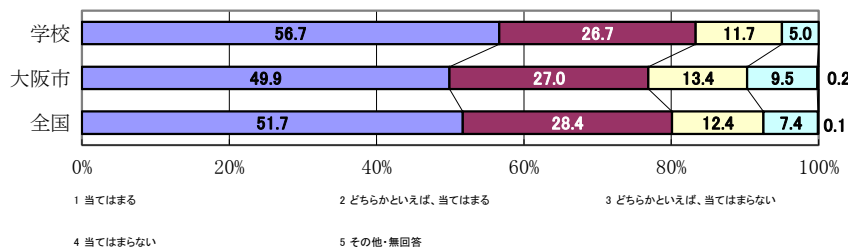
53

算数の勉強は好きですか



61

理科の勉強は好きですか



学校質問より

質問番号

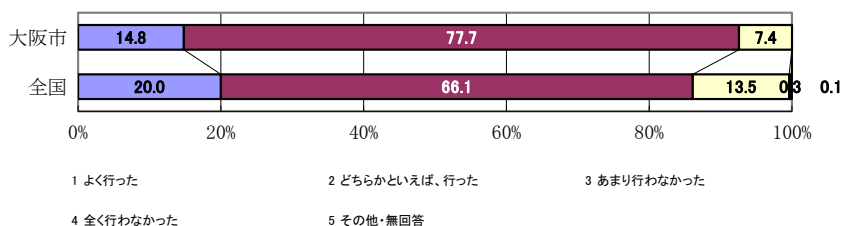
質問事項

9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

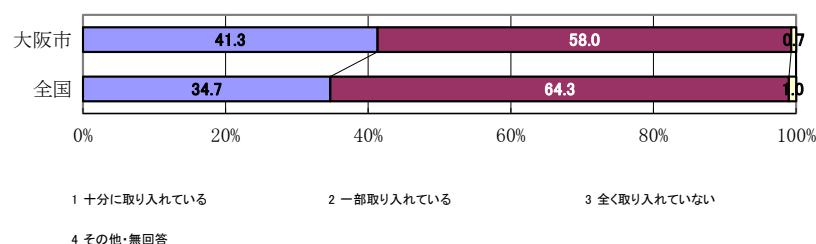
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

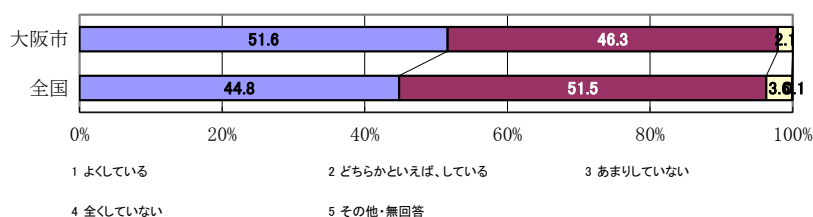
学校 「一部取り入れている」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

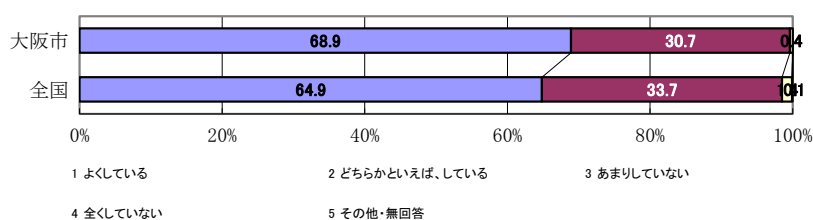
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

